多數は吾等の力である!!

（[redacted]）

■ 資本主義の社会は、資本家の階級と労働者の階級とに分れて居る。

■ 資本家の階級と労働階級との利害は、何時でも相反して居る。

■ 資本家は労働者が居らねば立ち行かぬ、労働者は資本家が無ければ生きて行けぬ、資本家と労働者とは、離れられぬ関係があるのだから、双方の利害は一致して居るというものがある。なるほど今の世の中では、労働者と資本家とは離れられぬ関係がある。それは丁度、甲の人の左の脚と乙の人の右の脚が、一本の紐で縛られて居るようなものだ。一方の人が勝手な方角へ走れば、一方の人は引きずられてゆく方はない。資本家が利益を計ろうとすればする程、吾々労働者の生活はみじめになる。労働階級の利害と資本家階級の利害とは、何時でも、そうして永久に相反して居る。

■ 資本主義の世の中は、資本家と労働者の二つの階級の闘である。吾々が勝たなければ必ず敵が勝つ。

■ 資本家は金がある。吾々は金がない。資本家は保護を与えられて居る[illegible]附いてある。其んな相談をする[illegible]。然し吾々は多数である。多数は力である。